



# 一瞬で心をつかむ 女性部下マネジメント

## 涙はしゃっくりと同じ？

女性部下のマネジメントで悩む男性上司は少なくない。本書はそんな男性上司に向けた一冊。とくに、女性部下とのコミュニケーションに重きを置いて書かれている。

コミュニケーションがうまくいかない最大の原因は男性上司が「女性が共感を求めていること」を理解していない点にある。相談を受けた時に、問題点や解決策を考えることに終始し、女性の感情に共感を示さないと、「分かってくれない」と思われてしまう。

最も印象的だったのは「女性の涙はしゃっくりのようなもの」という記述だ。女性部下を叱って泣かせてしまった経験のある人もいるはず。しかし、慌てる必要はない。泣き止み、落ち着くのを待ってから話を続けることがポイントなのだそう。

(西村直哉・清家三佳子著、幻冬舎MC刊、TEL 03-5411-6440、1400円+税)

## デジタルまゆ知識💡 「フィッシング詐欺」

「実在の銀行やクレジットカード、ショッピングサイトなどを装った電子メールを送付し、これらのホームページとそっくりの偽サイトに誘導して、重要情報を入力して詐取すること」で、偽メールという「餌」に釣られる意味を指します。

メール内のリンクは（例え本物のメールだとしても）とりあえずクリックするのはやめましょう。どうしても気になる情報がある場合はそのメールから返信せずに、そのサイトに直接訪問したり、場合によっては問い合わせを試みるのも一つの手です。がっちりと自己防衛しましょう！

## 編集後記

今冬は記録的な暖冬で、寒さに弱い高齢者にとっては過ごしやすく有難い冬となりました。静岡の河津桜も例年より2週間も早く開花したとのことですが、これが地球温暖化の影響だとすると、単純に早い春の訪れを喜んでばかりいられない、とも思えます。

さて、今年は待ちに待ったオリンピックイヤー、56年ぶりの日本での開催に胸を躍らせている方も多いと思います。イタリアには「ナポリを見て死ね！」という言葉がありますが、それを借りると「オリンピックを見て死ね！」ということになりますか？

クーベルタン男爵は「勝つことではなく、参加することに意義がある。」といったそうですが、やはり金メダルを何個とれるかといったところも興味津々です。

かつて日本は第1回の東京オリンピックを契機に首都高速や新幹線などインフラを整備し奇跡的な高度成長への足掛かりとしていったわけですが、今回のオリンピックを経て社会がどう変化していくのか楽しみの一つです。

開催目前にして、新型肺炎（COVID-19）対策や警備員不足問題など課題も山積していますが、日本がこれらを克服して世界に誇れる大会にしていくことを期待したいと思います。

(専務理事 鈴木 寿信)